

オリックスグループの 強みと今後の成長戦略

オリックス株式会社

証券コード **8591**

2026年3月12日





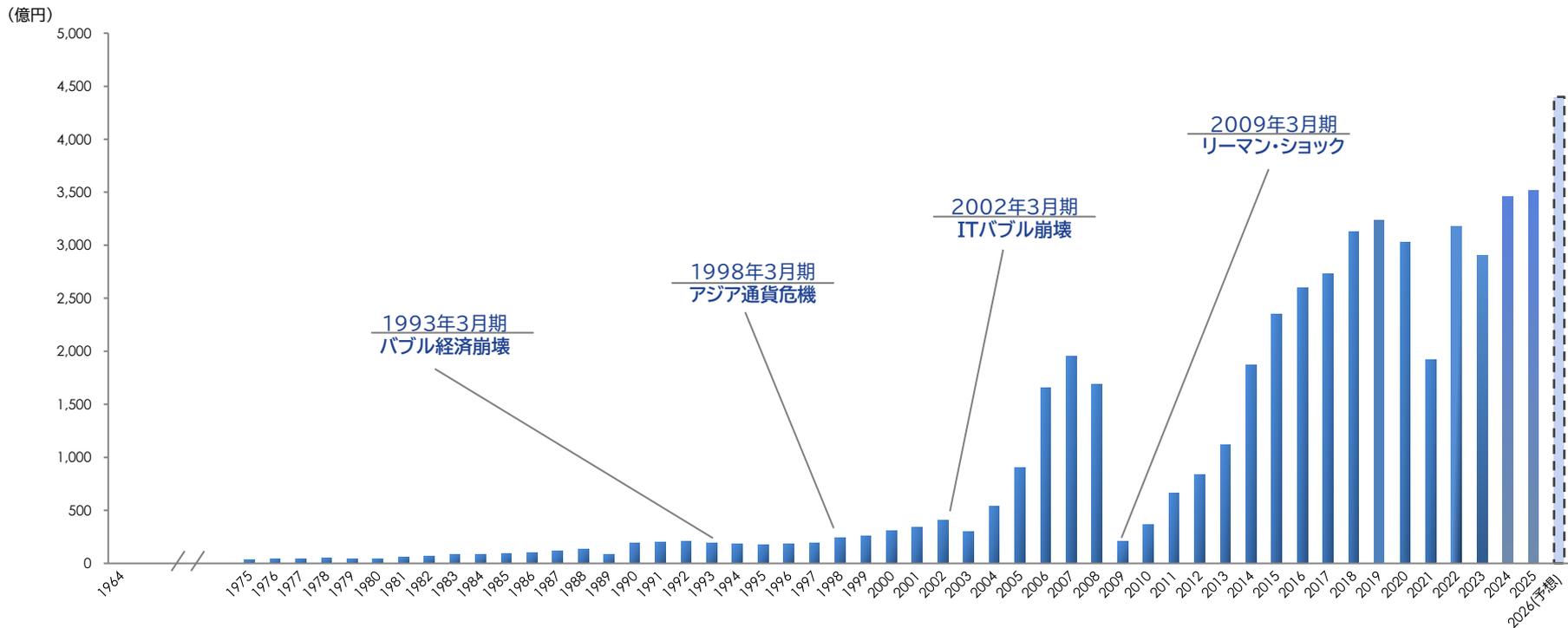
1. 業績と株主還元

実績と目標

	25.3期 実績	26.3期Q3累計 実績	26.3期 目標
当期純利益	3,516億円	3,897億円 進捗率:89%	4,400億円
ROE	8.8%	12.0%(年換算)	10.3%
財務健全性	A格に相応しい財務基盤を維持* S&P: BBB+ Moody's: A3 Fitch: A- R&I: AA JCR: AA		
株主還元	配当 : 配当性向39%または前期配当金額の高い方(25.3期は120.01円) 自社株買い : 機動的に実施 26.3期は1,500億円 実行済 総還元性向73% ※26.3期 当期純利益目標(4,400億円)達成時		

*いずれも2026年2月末時点の格付

事業の分散とリスク管理能力で過去61年間、黒字を計上



※「当社株主に帰属する当期純利益」の推移。

利益成長と配当性向の引き上げにより、1株あたり配当金は大幅に伸長

1株あたり配当金の推移



* 当期純利益が4,400億円の場合

数字で見るオリックス

高い収益性

25.3期通期 26.3期Q3累計
当期純利益 **3,516**億円 **3,897**億円
ROE **8.8%** **12.0%**



高い成長性

当期純利益の年平均成長率
(13.3期～25.3期)

10%



国内トップクラスの再エネ事業者

再生可能エネルギー事業
設備容量(全世界)*1

3.6GW



株主還元の拡充

1株当たり通期配当額
(11.3期～25.3期)
年平均成長率 **21%**



豊富な新規投資パイプライン

「事業」「投資」を中心に合計 **2兆円**



高い投資実績

国内プライベートエクイティ投資事業
IRR*2

25%



健全な財務基盤

信用格付
A格相当



グローバルなネットワーク

従業員数 地域
約 **34,000**名 約 **30**カ国・地域



アセットマネジメント事業の拡大

アセットマネジメント事業
運用資産残高*3

107兆円



*1 オリックスの持分比率および個別プロジェクトの出資比率を考慮して算出(2025年12月末時点)
*2 2012年以降の投資案件(13件)のExitの平均値(2022年3月末に資産譲渡した小林化工株式会社を除く)
*3 ORIX Europe、ORIX USA、不動産の各セグメントが運用する資産残高合計(2025年12月末時点)

※別途記載がない限り、2025年3月期もしくは2025年3月末時点のデータに基づく



2. 強みと特長

環境変化に強いポートフォリオで中長期的な成長を実現

現在の事業環境では、国内を中心にリアルなアセットが収益拡大を後押し

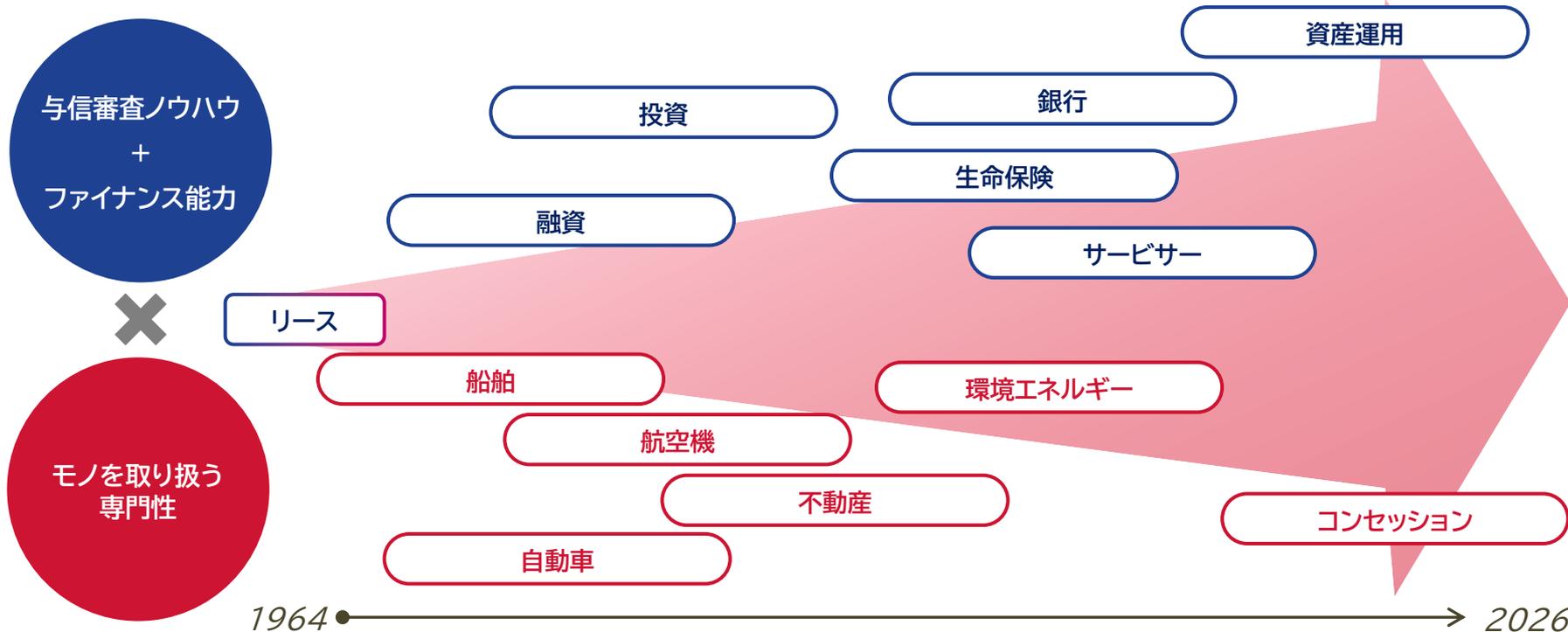
中東情勢をはじめ不安定な将来見通し

- ポートフォリオを分散化、「リスク軽減」と「機動的な投資判断」で中長期的に成長

日本に限らず金利ある世界、物価上昇基調が継続する見通し

- 航空機や不動産など「リアルなアセット」を保有・管理、価値の拡大
- ホテルや空港を運営中、2030年に大阪IRを開業予定、インフレのメリットを享受

「金融」と「モノ」の専門性を高めながら「隣へ、そのまた隣へ」



10セグメント

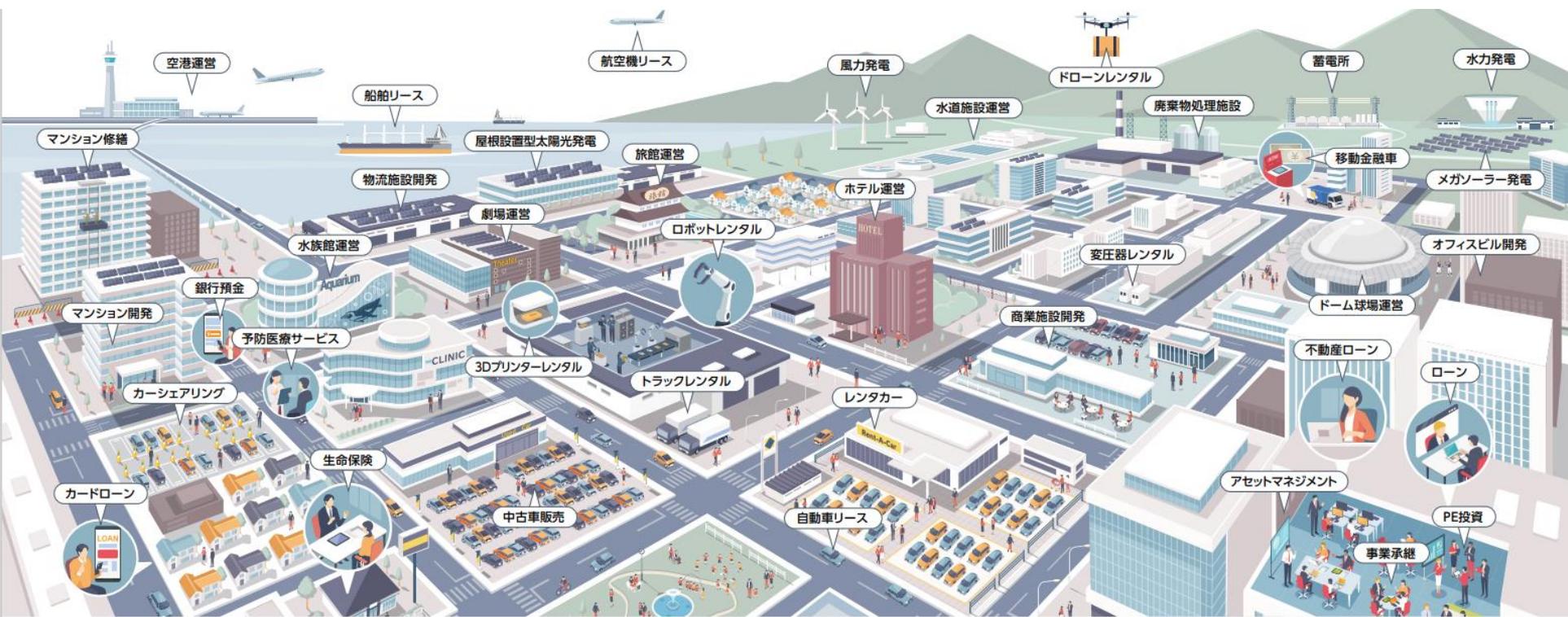
事業の多角化を進め、現在のオリックスの事業は10のセグメントで構成
それぞれのセグメントが連携しながら、高い収益性と成長性を目指す

(2025年3月31日現在)

セグメントの種類	主要な事業内容	セグメント利益	セグメント資産
法人営業・メンテナンスリース	金融・各種手数料ビジネス、自動車およびICT関連機器などのリースおよびレンタル	903億円	1兆8,846億円
不動産	不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産の資産運用	705億円	1兆1,583億円
事業投資・コンセッション	企業投資、コンセッション	989億円	1兆229億円
環境エネルギー	国内外の再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理、資源リサイクル	▲49億円	1兆162億円
保険	医療保険や死亡保険などの生命保険	744億円	3兆92億円
銀行・クレジット	投資用不動産ローンを中心とした銀行業務、カードローン	293億円	3兆1,446億円
輸送機器	航空機および船舶のリースやアセットマネジメントサービス	674億円	1兆2,320億円
ORIX USA	米州における金融、投資、アセットマネジメント	399億円	1兆5,939億円
ORIX Europe	グローバル株式・債券のアセットマネジメント	444億円	6,693億円
アジア・豪州	アジア・豪州における金融、投資	345億円	1兆7,256億円

社会の中のオリックス

多岐にわたる事業で多種多様な商品・サービスを提供





3. 成長ドライバー

今期業績のハイライト

AIの普及を背景とした中長期的なエネルギー需要の高まりを予想する中、以下の売却と投資を実行

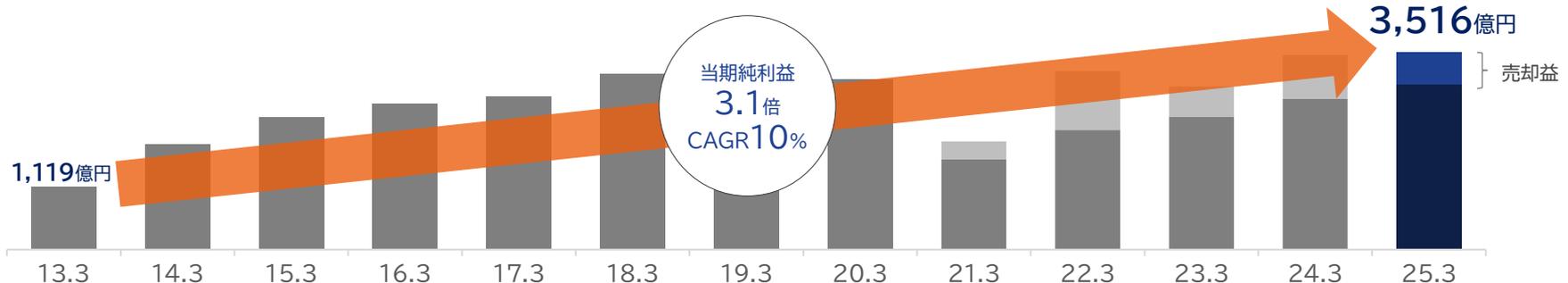
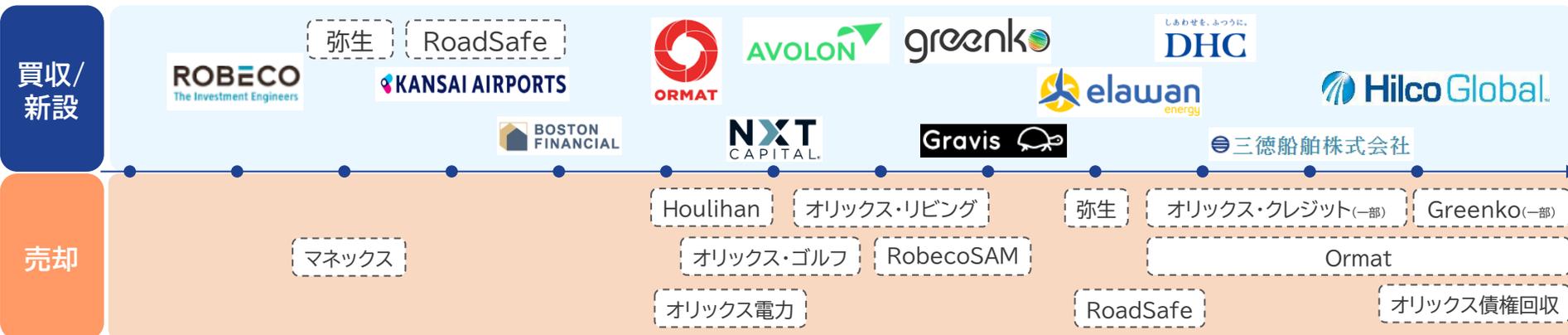
- ✓ インドのエネルギー企業、Greenko Energyの持ち分のうち17.5%を売却、大幅増益
- ✓ AM Greenの転換社債を引き受け



Greenko社HPより

キャピタルリサイクリング

Greenkoに限らず、「新規投資→売却→収益性のより高い案件へ投資」を継続し、利益成長を実現



第三者資本の活用

自己資金投資から第三者資金の活用で、より大きな投資機会へ、規律を保ちつつ案件を追求

関西



関西国際空港



MGM大阪株式会社提供/転載禁止

輸送機器(航空機/船舶)



航空機事業



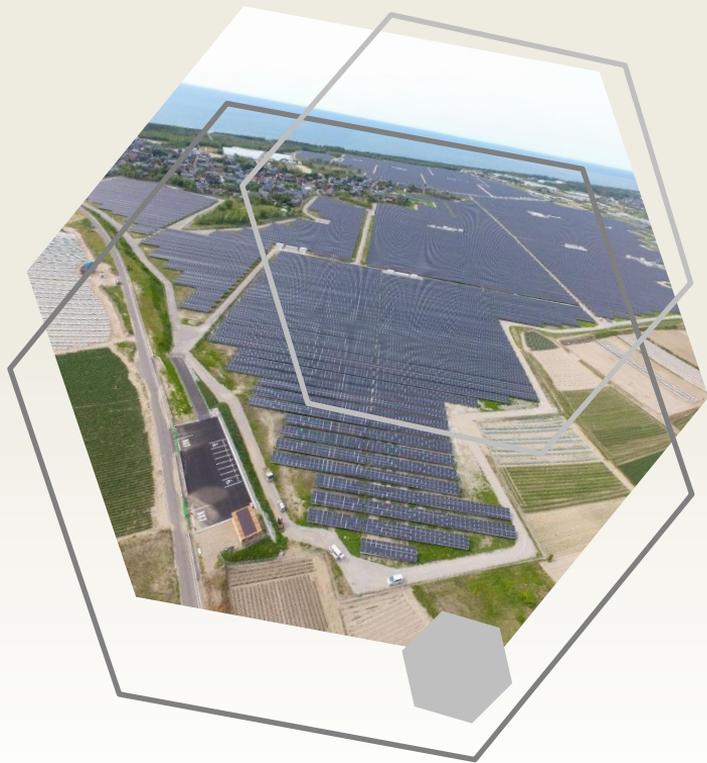
船舶事業

エネルギー



Budhil Hydro Electric Project, Himachal Pradesh

Greeko Energyの水力発電プロジェクト



4. 長期ビジョン

中期経営計画と長期ビジョン

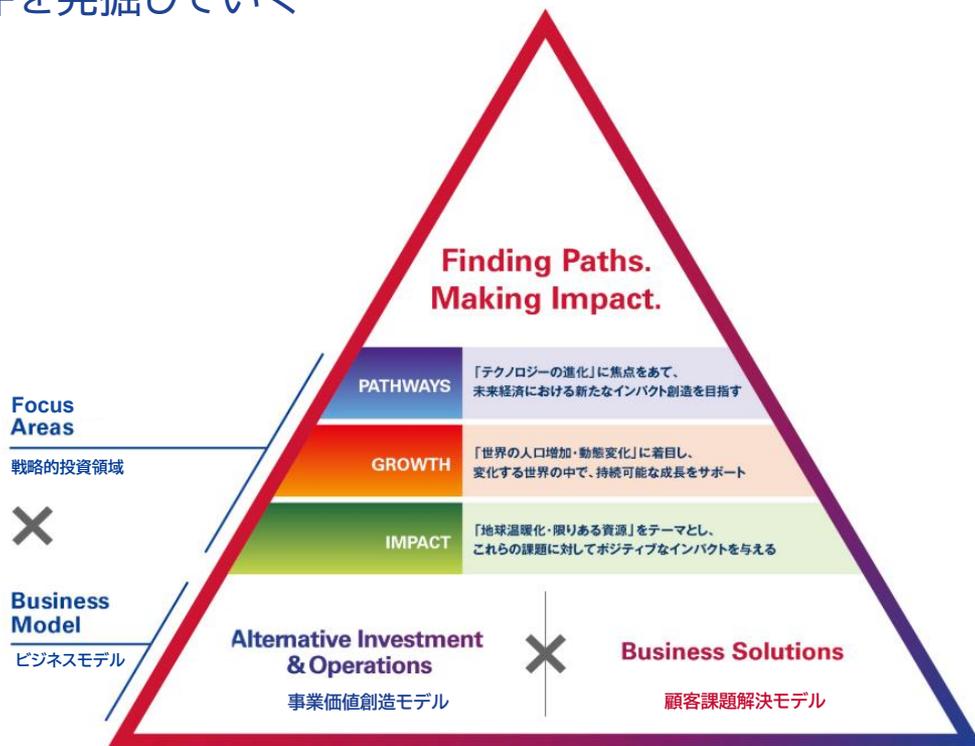
35.3期 長期ビジョン

28.3期 目標

25.3期 実績

	35.3期 長期ビジョン	28.3期 目標	25.3期 実績
ありたい姿	「事業価値創造」と「顧客課題解決」を通じて、社会にインパクトをもたらす。		
ターゲット (経営指標)	ROE 15.0% 純利益 1兆円	ROE 11.0%	ROE 8.8% 純利益 3,516億円
財務健全性	A格に相応しい財務基盤を維持		
① 配当性向 ② 自社株買い	企業価値成長 に相応しい株主還元	① 39% または 前期実績の高い方 ② ROE11%達成を重視、機動的に設定	① 39% (120.01円/株・通期) ② 500億円
AUM	アセマネfeeが成長ドライバー	100兆円(着実な拡大フェーズ)	74兆円

戦略的投資領域として「Growth」「Impact」「Pathways」を選定、魅力的な投資案件を発掘していく



本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会(SEC)に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因(Risk Factors)」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。